



2021年4月19日

## 火の鳥 NIPPON の挑戦を支える 『ダイバーシティコンセプト』を採用した バレーボール女子日本代表チーム新ユニフォーム

ミズノは、公益社団法人日本バレーボール協会とのオフィシャルサプライヤー契約に基づき、バレーボール女子日本代表チームの新ユニフォームを製作しました。このユニフォームはミズノが2021年から様々な競技で展開している『ダイバーシティコンセプト』を採用しており、女子日本代表チームは5月1日のバレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ2021～（東京・有明アリーナ）から使用します。カラーはダイバーシティブルー、レッド、ホワイトの3種で、試合により使い分けます。

『ダイバーシティコンセプト』は、東京の街を背景に選手と応援するすべての人々のそれぞれの思いが融合することで、躍動する日本の一体感と沸き立つエネルギーを表現しています。また、先の見通せない状況でも、人々の思いを繋ぎそれぞれの挑戦を後押ししたいという思いを込めています。

また、ファンに向けた応援アイテムとして、『ダイバーシティコンセプト』のグラフィックストーリーを施したレプリカシャツも発売します。



JVA2020-12-066

バレーボール女子日本代表チームの新ユニフォーム（ダイバーシティブルー）

### ■新ユニフォームについて

【汗対策と軽量化にこだわったシャツ】※ダイバーシティブルー、レッドのみ

シャツの生地には汗の膜が生地の通気性を低下させることで生じる不快感を解消した素材『ドライエアロフロー』を採用しています。「疎水・撥水系」と「吸水系」を配置したミズノ独自の構造により、汗の膜ができにくく、通気性を保つ生地設計にしています。そのため、汗が気化するとき身体から熱を奪う作用によって放熱性を高め、運動パフォーマンスと快適性をキープします。また前モデル※1に比べ、約30%軽量化しています。

※1 2018年9月から着用しているユニフォーム

【動き出しをサポートするパンツ】

サポート機能を持たせたパンツを日本代表モデルとして初めて採用した「BIO GEAR SONIC PANTS」は、締め付け力の強い生地を骨盤周りに配置しています。ストレッチ性のある生地を前腹部は低く、背中部は高くすることで、骨盤の前傾を促し、プレー時の前傾姿勢を維持しやすくしています。その結果、後方への蹴り出し動作がサポートされ、一歩目をより前方に進めることができます。

### ■バレーボール女子日本代表チーム レプリカシャツについて

ミズノでは、ユニフォームと同じ『ダイバーシティコンセプト』のグラフィックストーリーを採用したレプリカシャツも展開します。背中に女子日本代表チームの2021年シーズンのチームテーマである“突破力”と監督及び全選手のメッセージとサインがプリントが入ったタイプと背中無地の二種類があり、いずれも5月1日の東京チャレンジ2021大会会場で販売します。

また、大会後には公益財団法人日本バレーボール協会（JVA）のオンラインショップで販売します。



バレーボール女子日本代表チーム レプリカシャツ  
記

|       |                          |                   |
|-------|--------------------------|-------------------|
| 商 品 名 | レプリカシャツ<br>(メッセージ&サイン入り) | レプリカシャツ<br>(背中無地) |
| 価 格   | ¥6,000                   | ¥4,300            |
| カ ラ ー | 62. レッド                  |                   |
| サ イ ズ | XS、S、M、L、XL、2XL、3XL      |                   |
| 原 産 国 | 中 国                      |                   |
| 素 成   | ポリエステル 100%              |                   |

JVA オンラインショップ (<http://www.volleyballstation-online.jp/>)

(お客様のお問合せ先)

ミズノお客様相談センター

TEL: 0120-320-799

(『ダイバーシティコンセプト』についての参考資料)

## ■カラーストーリー

メインカラーには、『ダイバーシティブルー』と『エナジーレッド』を採用しています。『ダイバーシティブルー』は、日本古来の勝色である濃紺から冷静さをイメージする藍白のグラデーションで構成され、選手と応援するすべての人々のそれぞれの思いを表現しています。『エナジーレッド』は日の丸の赤をテーマに選手の持つエネルギーで日本中が沸き立って欲しいという思いを込めています。



## ■グラフィックストーリー

ダイバーシティグラフィックには「スポーツの躍動感」「日本の感性」「都市のエネルギー」、ロゴグラフィックには「クリスタル」のデザインエッセンスを融合しています。アーティストの澁谷忠臣(しぶや ただおみ)氏と協業し日本のミックスカルチャーとスポーツのエッセンスを表現しました。

### ◇ダイバーシティグラフィック



### 「スポーツの躍動感」

スタジアムの情景や筋肉の動きなどの選手のスピード感とエネルギーを、静から動につながる直線的なラインで表現しています。



スポーツの躍動感

### 「日本の感性」

書道の筆文字の一部をデジタル処理しデザインに落とし込むことで、日本が持つ新旧を融合し新たな価値を創造する感性を表現しています。



日本の感性

### 「都市のエネルギー」

過去と未来が融合し進化を続ける東京の街を日本家屋やスクランブル交差点、高層ビルなどの直線的なラインで表現しています。



都市のエネルギー

### ◇ロゴグラフィック

ロゴグラフィックは、パワーの象徴であるクリスタルをテーマに、形の異なる三角形を組み合わせて構成しています。一人ひとりの個性を表現したクリスタル（三角形）が文字を形作っています。

# JAPAN

ウェアの背中部分のロゴは、フラッシュを使用した撮影時に青白色に発光する特殊な加工を施しています。



〈フラッシュ無しで撮影〉

〈フラッシュ有りで撮影〉

【特設サイト URL】

<https://www.mizuno.jp/reachbeyond/2021/>

〈澁谷忠臣氏プロフィール〉

1973 年生まれ、横浜市出身。

直線的に再構築する世界感を持つアーティスト。その独自のスタイルで数々の世界中の企業とのコラボレーションやクライアントワークを行っており、2006 年ロンドンでの BECKS BEER の大規模なビルボード広告、2008 年に GIVENCHY のエンブレムデザイン、2012 年には氏の描いた RGIII のイラストが米ワシントンポスト特別号の一面を飾った。また、2018 年の GU とのカプセルコレクション、“EYES LOVE TOKYO” が大きな話題を呼んだ。最近では、Indeed ジャパンオフィスや、新潟万代島旧水揚などで巨大な壁面作品を数々制作している。

昨年は日本の伝統文化を再構築するシリーズとして、仏像の絵を中心とした個展 「UPDATE」 を京都と横浜で開催。

これまでに東京、パリ、バンコクでの個展をはじめ、ロンドン、NY、LA、台北などで数々の展示に参加し、表現の場は国内外、ジャンルを問わず多岐に渡る。

〈澁谷忠臣氏のウェブサイトとインスタグラム〉

<http://tadaomishibuya.jp/>

<https://www.instagram.com/tadaomishibuya/>

